

会員数 60名 出席者44名・欠席者14名・免除会員3名  
欠 席 者 麻田・秋山恒・後藤・山内光・和泉享・松山・馬場・飯間  
岸上・天野・林・中野昌・眞鍋・谷本-会員

前々回出席率 81.03%(2/21)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫  
幹 事 福田 洋子  
会報委員長 岡田 将一郎

## お知らせ

- ∴ 3月のプログラム
  - 7 (No.1)-クラブフォーラム
  - 16 (No.2)-善行表彰式
  - 21 (No.3)-休会
  - 28 (No.4)-IM報告
- ∴ 他RC例会変更
  - 坂出東 2/13→2/2 清掃活動
  - 3/27 夜間例会
  - 丸亀東 2/26 夜間例会
  - 善通寺 3/6 職場例会
  - 坂出 3/19→3/20 合同例会
- ∴ ニコニコBOX;
  - 祝誕生月  
山内孝君
  - 祝結婚月  
曾川君 小山君 有家君
  - 6番目の孫が生まれました  
秋山憲夫君
  - クラブフォーラムを終えて  
藤井君
- <ニコニコ会計累積/¥346,823>
- ∴ がんばるBOX;
  - 出席できなくて  
竹内一美君
  - 早退します  
高岡君 富田君
  - 3/16善行表彰式ご協力お願  
います  
陶國君
  - 藤井委員長のクラブフォー  
ラムを聞いて  
川原君
- <がんばる会計累積/¥294,000>

## ■会長挨拶

赤福の社長だった浜田益嗣(ますたね)氏は、ビジネスが続くためには後味が重要である。社長時代、衰退していた伊勢新宮の内宮前に観光商店街「おかげ横丁」を整備し、伊勢の観光活性化を主導した人です。おかげ横丁の面積は8925.6m<sup>2</sup>(2700坪)総事業費は140億円地域活性化に貢献する民間企業の見本です。また、伊勢には昔から、毎月1日にいつもより早く起きて伊勢神宮にお参りする「朔日(ついたち)参り」と言う習わしがありました。毎月1日に限り、作った特別な餅を赤福本店で販売しています。

吉野家の牛丼には、白ワインが使われ、食後あっさり感がありように使われているそうです。後味がもっとも重要かどうかは、ともかくとして「先味・中味・後味」は重要です。営業する時や会議で自分の企画を通したいときや人を相手にする仕事であればさまざまなケースで応用ができます。参考までに使ってください。

## ■幹事報告

- 1、3月9日 IMがアイレックスで開催されます  
登録開始11:30 開式点鐘12:30  
公開記念講演16:00~17:30
- 2、3月16日(14日から変更)ひまわりセンターで善行表彰式  
12:00より例会開始 お弁当用意します
- 3、例会終了後定例理事会があります

## ■理事会報告

- 1、4月5月プログラムについて承認  
5月2日休会 4日お城祭り参加 9日休会
- 2、観桜会について  
懐風亭の送迎バス坂出駅17:40 プラザホテル丸亀18:00出発
- 3、例会の食事について  
本年度下半期予想額を計算に入れ予算内でできそうなので食事の値段は下げずに今までどおり承認
- 4、丸亀城石垣修復に対しての寄付金の集め方について  
3月28日の例会の会長報告の時、会員と意見交換する

■例会事業:クラブフォーラム;国際奉仕委員会 藤井委員長  
まず、ロータリーにおける「国際奉仕」とは?ということ、  
「奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むこと  
や通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを  
目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力す  
ることを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、  
願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、  
親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成る  
ものである。」と定義されます。



具体的には、ロータリアンの世界的親交によって国際理解と平和を推進する活動であり、我々丸亀ロータリークラブとしての活動ではロータリーの青少年短期交換プログラムとしてのニュージャージー州(RI第7470地区)⇄四国(RI第2670地区)の交換留学生受け入れが当たります。今年には2002年生まれの16歳、2000年生まれの18歳の女の子を福田幹事がホストファミリーとして受け入れました。来年度、ご興味のある方はぜひ積極的に受け入れをお願いいたします。

私的に、国際奉仕という観点では、外国のロータリークラブ訪問を行ったことがあります。

2016年9月

- ・ルーアン・ロータリークラブ(フランス)
- ・ケンペン・クレーフェルト・ロータリークラブ(ドイツ)

2018年3月

- ・ヴィリッヒ・ロータリークラブ(ドイツ)

の三クラブです。国も宗教も文化も違うことばかり・・・しかし・・・3つのクラブの共通点はあたたかい歓迎でした。実体験として「ロータリーの友」から学ぶことそれは・・・どこから来たビジターに対してもあたたかく歓迎する気持ち、この気持ちを私も同じように持ち、丸亀に迎えたいと思います。これが国際理解や親善のひとつの形？ではないかと思いました。

そして、2019年はドイツ・ハンブルグで国際大会が開かれます。ハンブルグ大会に行けるかどうかは別として、いつかは国際大会そして発祥の地であるシカゴロータリークラブの例会に参加してみたいと思います。ぜひ、一緒に行きましょう！